

主催：
世田谷区立男女共同参画センター
らぶらす/
“共生社会をつくる”セクシャル・
マイノリティ支援全国ネットワーク
(共生ネット)

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす区民企画協働事業

伝えたい、 セクシュアル・ マイノリティの 実像

大人になっても大変だ、
子どもはなおさら大変だ

(内容)

新聞やテレビでおなじみになった性同一性障害。いまだ、からかいの対象となる同性愛。「セクシュアル・マイノリティ」とは、性自認や性指向が周囲と違うと自覚する人々のこと。人口比で5%、1クラスに1人は当事者がいると言われてはいますが、見た目で見るとは限らず、その多くは家族にも言えずに悩みます。なんで隠すの？なぜ敢えて言うの？どんな悩みがあるの？家族や友人、同僚から打ち明けられたら？映像を交え、誤解の多いセクマイの等身大の姿を伝えながら、皆様の素朴な疑問に丁寧に答えします。

日時：**11月1日(日) 13時30分~16時**

場所：世田谷区立男女共同参画センター らぶらす 研修室3、4

北沢タウンホール1 1階

小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口5分

定員：40名(要申し込み)

参加費：無料

どなたでも参加できます。

申込み方法は裏面をご覧ください

保育：あり(5か月~就学前)

申し込み先着順 10月23日(金)締切



小田急線・井の頭線「下北沢」下車南口より徒歩5分
小田急バス「北沢タウンホール」下車(駒沢陸橋~北沢タウンホール)

子どもはなおさら大変だ

＊プログラム＊

●セクシュアル・マイノリティってなんだ？

—学校、家庭、地域社会……セクマイたちの暮らしとところ

①大人になっても大変だ

僕、北沢2丁目に住むゲイでした／あの頃、カミングアウトできなかったこと
レズビアン“家族看護学”「家族」になれない同性パートナーたち

②子どもはなおさら大変だ

教室で、セクマイであること—若い当事者は学校に何を求めているか
青森のセクマイたち：映像を交えて

～休憩～

●グループ・ディスカッション

「カミングアウトされたら、どうする？」

●地域社会にできること、いま始まっている取り組み

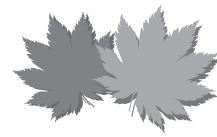
＊終了後、有志による共生ネットの懇親会あり＊

世田谷区立男女共同参画センター
らぶらす区民企画協働事業

伝えたい、 セクシュアル・ マイノリティの 実像

11月1日(日)
13時30分～16時

世田谷区立男女共同参画センター
北沢タウンホール 11F



“共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワークは、セクシュアル・マイノリティへの根強い偏見の解消と真の共生社会をめざして、国政レベルに働きかけようと、2008年に発足しました。当事者のみならず、その家族や友人などの支援者からなる全国規模のネットワークです。

＊講師プロフィール＊

■ 宇佐美 翔子

共生ネット副代表。
青森セクシュアル・マイノリティ
協会創設メンバー。
地方の視点を常に大事にしながら
LGBT 支援を考えている。
女性のためのインターネットラジオ「ラジオパープル」
のパーソナリティ。



■ RYOJI

共生ネット教育PTリーダー。
共編著に『カミングアウト・
レターズ——子どもと親、生徒
と教師の往復書簡』(2007年、
太郎次郎社エディタス)。
大のシモキタファン。現在、教育研修などで使える
セクマイ支援DVDを監督・制作中。



＊申し込み方法＊

10月1日(木)10時より電話・FAXで先着順
FAXの場合は住所、氏名、電話番号を明記
保育が必要な場合は子どもの名前と年齢を明記
※申し込み・問い合わせ：

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

TEL: 03-5478-8021

FAX: 03-5478-8026

＊世田谷区立男女共同参画センター“らぶらす”では、地域の男女共同参画の推進を図るため、区民の方や団体から募集した企画案を「区民協働事業」として実施しています。

FAX: 03-5478-8026

お電話でも受け付けております。TEL: 03-5478-8021

ふりがな
氏名
(〒 -)	
住所	
電話番号 () -	
e-mail	
※保育ありの場合	
子どもの名前:	年齢: 才